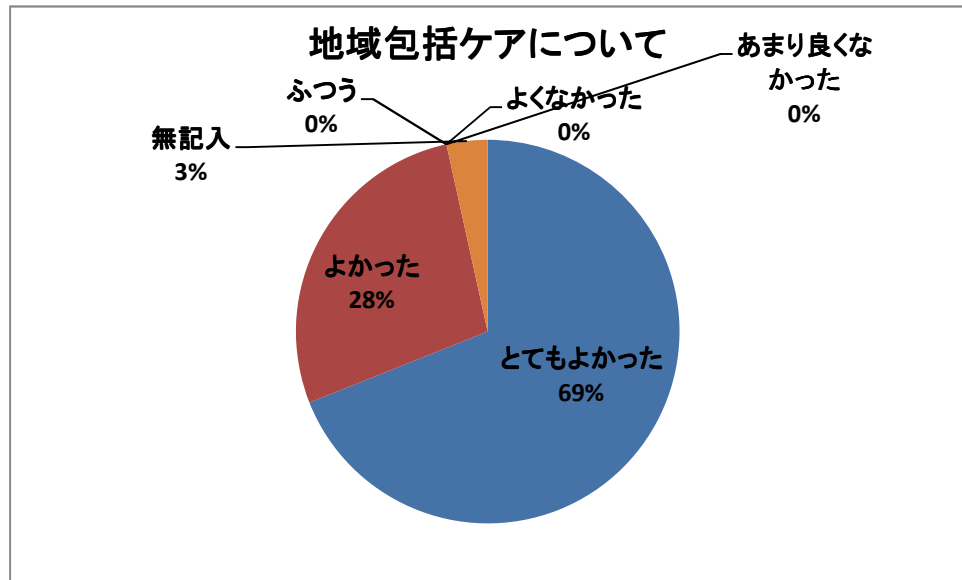


12月5日 福祉用具最新情報

アンケート結果

参加者 29 名参加 26 名回収

発表者・事務局合わせて 38 人参加



受講して良かった点や参考になったことなど

- ・全部、500円は安い！！
- ・地域包括ケアシステムの概要など分かりやすかった。また、現場の立場の悩みや問題点など在宅高齢者を支える人たちの声が聞けて良かった。
- ・それぞれの現場での問題点について知ることができた
- ・色々な専門職の立場から意見を聞く事が出来てよかったです。地域包括ケアシステムを作り上げるにあたって市民の意識づけをする事は難しいことだと感じています。
- ・地域包括ケアシステムの概要や制度、現状がよく分かった。
- ・それぞれの立場からの現状や問題点が分かった。すぐに改善はできないと思うが、取り組まないといけない課題がわかった。
- ・ヘルパーさんの仕事。ただ食事、排泄、入浴動作を援助するだけではなく、食事量やオムツの数など、全ての観察によりその人を見守っているのだと思った。
- ・各サービス事業の問題点を共有する事ができてよかったです。様々な意見を聞くことができ、有意義な研修会でした。
- ・各立場による意見が聞けて良かった
- ・各職種の方の意見が聞かれて良かった。問題が大きく話し合いし切れなかった。
- ・老健ではない事業所の問題や悩みを聞く事ができて良かった。特に現場教育の中で介護は資格を取るにあたり、いろんな方法がある為教育状況の違いをどのように統一していくかが今後の課題だと思った。介護における制度も良くなる傾向にあることが分かったので現状だけでなく未来に向けて前向きに考えて

いきたいと思った。

- ・多職種間での意見交換が出来て良かった。
- ・他事業所も同じような問題をかかえており、他事業者どうしの協力や介護保険内のプランの計画に対する介護者、看護者、医師、リハビリ訪問の考え方の一部が参考になった。
- ・利用者さんに密着した各々の他職種の方々の悩みが理解できました。研修・教育等の必要性を感じました。
- ・皆さんのお立場で各々な問題点があると参考になりました。

在宅に向けて各職種の方が、まず利用者の希望・意見を重視していることがうれしかったです。地域連携がゆるやかに（職種や役割者を縛るものではなく）進んで行けばと願います。

- ・6例のサービス事業者の皆さんからの発言から各々の大きな課題が在ることが知らされ、自分のこれからの職務遂行のために役立つと思う。
- ・立場の違うそれぞれの観点からの問題点悩みを聴く事が出来て、自分の立場以外を知る機会はないので、そこが勉強になりました。
- ・訪問や通所、サービスの違いによって色々な視点があるという事。日常に流されて生活や仕事（業務）を行っている毎日。参加することでモチベーション upにつながります。学ぶ、学べることによって気を引きしめて頑張っていこうと思う事が出来ます。
- ・様々な職種の方々がそれぞれ利用者様への思い、在宅ケアへの期待、自分の仕事に対して誇りを持って日々働き、また、外部への情報発信を頑張られている事を学べた点。
- ・このたび、祖母を自宅で看取りました。その実体験で感じた不安、悩み、制度、地域格差などの問題を改めて本日共有する事ができた点。「死は怖くなかった」です。
- ・現場での課題を詳しく伺う機会となり大変有意義でした。また、福祉用具の選定の視点、あらためてその通りと意識することができました。色々な素晴らしい方々の意見、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・各分野で、エキスパートの方たちの話だけに、現状や課題がよく分かった。介護保険、在宅医療の問題はいつも語りつくせないほど山積みであるが、共感することが多い反面、理想論が通用しないというあきらめ感もあるのが事実。それはどの職種や職場でも変わらないのかな。
- ・ヘルパーの質の向上は、ヘルパー単価の底上げと連動していると思う。ヘルパーを職業として経済的に安定させること多職種として同等に処遇する事が必要と思う。①ヘルパー賃金のアップ（時間的余裕）→②ヘルパー地位のアップ→③ヘルパーの質向上
- ・様々な職種のパネラーからの意見を聞く事により、各々の視点の考え方を知ることができよかった。

質問や気づいたこと、感想

- ・各職の境が分からない
- ・自覚と情報共有で解決できるものもあるように感じた。キーワードはプロ意識。
- ・福岡での在宅でのカルテの共有は、患者さんに見られることはないのでしょうか。見られる状況があれば、本当の事が書きにくいのではないのでしょうか。・ヘルパーさんはもっと自信を持って、担当者会議などで発信すればいいのでは
- ・地域包括ケアシステムと組み合わせて発表者の話を聞いていると、実施していいか不安になりました。

他の専門職の抱えている課題が聞けて良かったです。「地域包括ケアシステム」自体が幅広いので、「死に方」「予防」などしぼって今後もテーマ化していただけるとありがたいです。

- ・マンパワーには現状としては限界がある。福祉用具の活用は必要不可欠だと思う。

時間が短かった。

- ・途中から国の決まり（医介保険）が変わっていくことに対する利用者、御家族、施設の両方の理解。今後の現状の問題についての意見交換の場の必要性があること。
- ・マイクの関係が聞き取りにくかった。
- ・在宅での暮らしやすさ、安全な住まいの考え方や事例が見られると良いかなと思いました。
- ・最後に福祉用具の方の話が聞かれ良かったですが、本日の会に業者の方も入ったら思いました。また、障害者の方の意見も聞ければと思っています。
- ・山形さん、井内さんを除いて福祉用具の有用性に関する情報がなかったことは残念だった。関係するサービス事業者間の連携が課題と認識されながらその対策が進んでいないことを残念に思う。
- ・専門職であること（なぜ、どうしてこうなったのか、どうしたら良いかなど考えることの大切さ）。ひさしぶりすぎて自分の気の緩み方にびっくりです。学ばせていただいて、ありがとうございます。
- ・改めて医師が在宅ケアに興味をも持ち、理解をしていただく必要があるのではないかと思いました。（サービス担当者会議には出席しなくても当たり前、書類作成を面倒臭がる、電話しても感じが悪い）
- ・本日のシンポジストに行政機関（保健師、ケースワーカーなど）や医師の方がいらっしゃったら、また違った視点があって面白かったかもしれないと思いました。
- ・1人15分で×8人・・・

受講した方の所属している事業所・施設・病院名を公開することに同意をいただいた皆様

飯塚市 有限会社 エイコー

福岡市 株式会社 cocotama 産業・心理カウンセラー

福岡県社会保険医療協会

嘉麻市 株式会社四葉ケアサービス クローバー訪問介護ステーション 訪問介護

北九州市 (株)神崎工務店 建築士

鞍手町 康和会 リンゴケアプランセンター ケアマネージャー

福岡市 ニシキ

田川市 田川市立病院 PT

下関市 グリーンコープ暮らし用品サポート自由自在

久留米市 九州ホームケアサービス (株)

飯塚市 麻生メディカルサービス株式会社 アップルハート飯塚訪問看護ステーション

福岡市 有限会社どんぐり 介護職員 サービス提供責任者